

平成30年度第2回瑞穂市総合教育会議 会議録

平成30年11月29日（木）午後1時開議

○日 程

開会

1 あいさつ

2 議 題 （1）平成31年度予算要望について

3 その他

閉会

○出席者

市 長	棚 橋 敏 明	教 育 長	加 納 博 明
教育長職務代理者	加 藤 悟	教 育 委 員	福 野 佐 代子
教 育 委 員	森 下 伊 三 男	教 育 委 員	加 木 屋 加 緒 里

○欠席者

なし

○説明のため出席した者の職・氏名

教育次長	山 本 康 義	教育総務課長	矢 野 隆 博
学校教育課長	小 川 瑞 樹	幼児支援課長	林 美 穂
生涯学習課長	佐 藤 彰 道		

○職務のため出席した者の職・氏名

総務部長	廣 瀬 充 利	総務課主査	田 中 亮 輔
総務課主任	村 田 杏 沙		

○傍聴者

0 人

開会 午後1時

開会の宣告

○廣瀬総務部長 皆さんこんにちは。本日は年末の大変お忙しい中、平成30年度第2回瑞穂市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会は総務部の廣瀬が務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。会議に入る前に、携帯電話をお持ちの方は、マナーモードもしくは電源をお切りいただきますようお願いいたします。本会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定によりまして原則公開となっております。現時点では傍聴の方はみえませんが、希望者があった時点で、認めるということによろしいでしょうか。

(全員同意)

○廣瀬総務部長 もう一点、「瑞穂市総合教育会議運営要綱」第7条の規定に基づき、議事録には、出席者の氏名等が公表されますことも申し添えます。

それでは、はじめに、棚橋市長より、ごあいさつ申し上げます。

あいさつ

○棚橋市長 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。まずは本日総合教育会議を開催するにあたりまして、私の平和首長会議での発言についてご報告とお詫びを申し上げます。

平成30年11月6日、高山市で開催されました第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会での平和に関する取組事例の報告の際、平成27年度に瑞穂市が実施いたしました長崎市へのピースメッセンジャー派遣事業で、生徒の皆さんが大変暑い中、平和学習に一生懸命取り組んでくれた姿を会場の皆様方にお伝えしようとするあまり、配慮に欠けた発言をしてしまいました。

ピースメッセンジャーとして参加していただいた生徒さん、保護者の皆様方、そして市民の皆様方、過日開催した総合教育会議においてピースメッセンジャー事業及び平和推進事業について大変貴重なご教

授をいただきました教育委員の皆様方に多大なるご迷惑をおかけしたことを深く反省し、心よりお詫び申し上げます。

今後は市長として自覚をしっかりと持ち、一層気を引き締めて市政に邁進してまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

話が変わりますが、私たちが連携させていただいている朝日大学の12名の学生さんが、平成30年度公認会計士試験にこの度合格されました。このようにしっかりとした教育、そして人づくりをしておられます朝日大学との連携は瑞穂市の誇りでもあります。ここであらためてお祝いを申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

それでは本日の議題は「平成31年度予算要望について」でございます。平成31年度予算要望について、主要事業、新規事業等来年度はどのような事業を検討しているのか。それに伴う予算について説明願います。

また今回委員の皆様方から率直なご意見があれば賜りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○**廣瀬総務部長** ありがとうございます。次に加納教育長からご挨拶をお願いしたいと思います。

○**加納教育長** 改めましてこんにちは。本日第2回の総合教育会議ということで、市長さんからの招集に応じて議題を考えたところでございます。詳しくはまた後ほど各課の課長から説明がありますが、今回新年度予算を立案するに当たりまして、課長等に指示をしたことは大きく2点ございます。1点は各課の喫緊の課題は何か、今後5年、10年後にそれが確実に反映される喫緊の課題の解決に向けての予算を立案することと、もう1点は昨今の猛暑等災害級の異常気象、あるいはピストルを警察官から奪って発砲する等想定を超えるような犯罪、そういったところから子ども、市民を守っていくために、安全安心な教育環境を整えることはできないだろうかということを各課共通の要として、予算の立案をお願いしたいということで指示を出したところでございます。今日はそのような内容で説明があると思いますのでよろしくお

願います。

○廣瀬総務部長 ありがとうございます。それでは瑞穂市総合教育会議運営要綱第4条の規定によりこれより棚橋市長が議長となって会議を進めていただきたいと思います。それでは市長さんよろしくお願いします。

議題 (1) 平成31年度予算要望について

○棚橋市長 議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは議題1の「平成31年度予算要望について」担当課長より説明をお願いいたします。

○矢野教育総務課長 (資料に基づきICT教育推進事業の予算要望等について説明)

○小川学校教育課長 (資料に基づきグローバル化対応教育の推進の予算要望等について説明)

○林幼児支援課長 (資料に基づき保育所体制強化事業の予算要望等について説明)

○佐藤生涯学習課長 (資料に基づき生涯学習施設の計画的な改修の予算要望等について説明)

○棚橋市長 ありがとうございます。只今説明がございました「平成31年度予算要望について」これにつきまして皆様よりご意見やご質問あればよろしくお願いします。

○加藤委員 教育総務課の方でご説明いただきました、まず初めの「安心・安全で快適な教育環境の整備」、この防犯カメラの設置内容というのはカメラ、そしてモニター、あとはひょっとすると各学校の管理だけでなく教育委員会の管理なのか、その辺りをご説明いただけますか。

○矢野教育総務課長 当初防犯カメラについては、モニターも無く単純にデータを保存するだけの機能を予定しておりました。というのは滅多に不測の事態の発生はないだろうということで、何かあったら事件の辺りだけデータを抜き取るということでしたが、ただ万が一侵入して来て校舎を閉めた場合に、相手がどこにいるかという把握をするために最終的にはモニターを付けようと思っております。

ただそれが教育委員会も通信できるかというと、元々ネットワーク環境が整っておりませんので教育委員会事務局への通信はできませんが、学校内でのモニター管理はできるようにしたいと思っております。

○加藤委員 際限はなくとも最低限必要な形を整えないと思います。あれは整備しなくていけないのでそれで結構だと思いますが、学校の職員室にモニターを置いてちょっと見られるようにする。

○矢野教育総務課長 昔ですとモニター、録画機と別々になっていましたが、今は、モニターと録画機が高性能になり、壁面に設置できる一体型のものですと小さいスペースで済みます。そういった物で対応したいと思います。

○棚橋市長 今図書館で使っているようなものを想像していただければよろしいですか。

○矢野教育総務課長 図書館はモニターとレコーダーは別々に机の上に置いてあるんですけども、かなり大がかりになりますので、壁に設置するコンパクトなタイプにしたいと思っております。

○森下委員 ほづみの森こども園ですとか、何ヵ所かに防犯カメラ設置の予算要望がありますが、これは事業者が設置するのを補助するという形で、市は内容的なことには特に関知しないのですか。

○矢野教育総務課長 そうです。

○森下委員 それと生涯施設防犯カメラの設置工事は、各広場等の施設にも設置すると。細かな話ですが、基本的には全く独立して業者が設置しているのですか。

○矢野教育総務課長 教育委員会の施設のほかに都市管理課の施設、たとえば公園とかその他の都市施設にも防犯カメラをとという話があります。各課協議をしてできれば一括で、一緒になって発注した方がスケールメリットがあります。ただタイプはそれぞれ、今の生涯学習施設ですと、例えばグラウンドに設置すると通常モニターを見られる人がいないのでいらないということとか、形は違うことはありますけれども、基本は一緒に防犯カメラの発注ができたらなと考えております。

○加納教育長 この台数は建物の形とか配置によって変わってくる。

○矢野教育総務課長　そうです。平面の図面上必要だろうということで 1 ページ目にある教育施設の小学校、保育所、幼稚園の設置台数としていますが、この図面上で死角を無くす台数ですので、現場に行くとどうしても立体になりますので、それに応じて若干増ということにはなるかと思いますが、実際現場を確認してからの台数になると思います。

○棚橋市長　委員の先生方、他よろしいですか。

○森下委員　2 ページ I C T 教育推進事業ですが、これ非常に良いことだと思うのですが、今般各小学校中学校等交流会とか定期発表会にずっと伺ってきたところ、先生方によってはちょっと使い切れていない、それからもう少しこういう風にしたらうまく使えるんじゃないかなと思うところがありまして。導入とともに研修は計画されているのでしょうか。

○小川学校教育課長　基本的な使い方については、夏休みまでに導入しますので、先生はその夏休み期間中に研修を受講しております。ただその後の応用になってくると、やはりそれぞれの興味とか得手不得手がありますが、巢南中学校に I C T 関係に精通した先生がおみえになりまして、お声掛けいただければその先生がその現場に走って教えていただけるという体制をとっております。

○森下委員　スキルアップを期待しています。

それからもう 1 点よろしいですか。学童保育ですね。5 ページかな。この前新聞で見たところによりますと、厚生労働省が放課後児童クラブの職員基準を緩和する方針らしいのですが、その辺の対応はよろしいですか。

○林幼児支援課長　確か小規模な放課後児童クラブについて、小規模で児童が数人しかいなくても常時 2 人以上の児童支援員を置かなくてはならず、不合理ではないか、ということについては、当市はどちらかというと預かる児童が多いですので、あまり影響がないと考えております。

○森下委員　そうですか。質の低下等が新聞で提起されていますが。

○林幼児支援課長　確かに指導員の資格の緩和もありますが、先生の質は確保したいので、当市では夏休み等で多くの先生を必要とする際にも、指

導員（メインの先生）につきましては学校の先生とか保育園の先生だった方等をお願いしており、補助の方については、学生の方でもというように資格のない方も採用をさせていただいたというところはございます。

○森下委員 最後1点。4ページの「教職員多忙化解消事業」の件ですけれども、スクールサポートスタッフを補助事業で各中学校に導入と書いてあるのですが、小学校に関してはいかがですか。

○小川学校教育課長 中学校区という形で。

○森下委員 校区だったんですね。

○小川学校教育課長 小学校にも入っています。

○森下委員 わかりました。

○棚橋市長 そのほか、ご意見等もございましたらお願いします。

○加木屋委員 5ページの「放課後児童クラブ送り届け事業」ですが、来年度このタクシーを使って送り届けるという方の人数が多いのかどうか伺いたかったのですが。

○林幼児支援課長 今年入れなかった方は、おおむね生津小、穂積小、本田小の4年生、5年生、6年生の児童で、4、50人みえたと思います。そちらの方を、受け入れに余裕がある西、中、牛牧小校区の方へ、それぞれ学校ごとに対応を考えております。例えば穂積小だったら牛牧小、本田小だったら中小、生津小だったら西小と、タクシーを使って送り届けることを検討しております。ただ、一体どれほどの方が他の小学校区の放課後児童クラブに入ることを希望されているかと聞かれますと、正直私たちもちっと雲を掴むようなところです。一度やってみて、高学年のお子さんが今入れない状態ですので、そこまでするならうちで面倒を見るというご家庭が多ければ、タクシーを出す必要性はあまり高くないのかなとは思っていますが、数字的にはまだわからないのが正直なところです。

○加藤委員 1ページの「安心安全で快適な教育環境の整備」ですが、学校を訪問させてもらった時に、1クラスに2、3人と、本当に外国人の子どもが多くて、理科等の授業で周りに後れを取ってしまわないのかと

心配して見ていたのですが、やはりなかなか厳しい部分があり、黒板の板書をノートに一生懸命写して終わってしまう子どもが大半のようでした。何とかサポートできる体制を作っていただけると本当にありがたいと思います。

子どもの指導も大変ですが、保護者に連絡したいことがなかなか伝わらないとか、あるいは日本の文化と外国の文化では違いがあるものですから、意思疎通が難しいところがあります。これは教育委員会内だけでは解決が難しいと思うんです。やはり市役所内各課との連携をとっていただきながら、そういった家庭を支援していく体制を作っていただきたいと思います。

昨今テレビ等で、外国人の雇用問題が取り沙汰されており、各自治体に負担がかかってくるのではないかと心配しております。現状で言ってもこれだけ外国人の人数が多いとなると、学校の体制だけでなく、市役所の方と連携を取っていただいて、切れ目のない支援を考えていただけるとありがたいです。

○棚橋市長 なかなか明確な答えは難しいですが、本当に考えていかなければならない問題であるということです。市役所としてまた瑞穂市として今後どうしていくか、特に近年、外国からみえる方が急増しているわけですので、どのように受け入れていくのか、本当にその方々に当市で生活していただくためにどのような施策を行っていくのか、考えるべきかなと思います。

○加藤委員 やはりそういった子どもが学校に居場所がないということになってくると、どうしても問題行動が出てくる可能性があります。万が一問題行動が出てから対応となると大変難しいですから、その子が学校を楽しいと思えるか、学校に来て勉強ができて面白いと思えるか、そういう体制づくりをぜひ早めに進めていただきたいと思います。それから、以前ブラジルから来たお子さんで、子どもには片言で話ができる一方、家庭に電話連絡をしても全然言葉が通じないというケースがありました。子どもが出るとちよっとは通じるんですけども、例えば学校では保護者のかたにお知らせやお願いをしなければいけないことが度々

ありまして、「遠足で弁当がこうだ」とか、「明日は給食が無いのでみんな弁当を作ってきてください」とか、学校からいろんな通信やプリントを出すんですが、私が現役の教員だった時は、偶然近くにその外国語の堪能な方が同じクラスにみえたものですから、そのお母さんと連絡を取る等して、なんとか学校を休まず頑張って登校してくれたと思っています。保護者も子どもや学校からの連絡を理解できるような体制づくりをしてほしいと考えています。その子どもたちが、今後ひょっとすると日本に永住するとなると、やはり何かしら日本や瑞穂市に貢献していただきたいと思いますしね。

○加納教育長 今の加藤委員さんに付け加えますけれども、やはり教育委員会の方で今までいろいろと対策をとってきて、今後さらに充実させなくてはいけないと考えている。これは学校教育課について喫緊の課題ととらえているわけですが、他市町と情報交流する中で、市長部局との連携がうまくいくと子どもたちも安定するということもありますので、今後はそういった形で応援し合うという形で体制を整える必要はあるかとは思いますが。

○棚橋市長 知識のこともございますからね。

○加納教育長 多くは穂積小、牛牧小校区です。圧倒的に多いです。この2校区で大半を占めています。生津小、本田小には少しずつで、旧巢南町校区にはほぼいません。住環境の違いがあるかと思いますが。

○棚橋市長 ほか、よろしいでしょうか。

○加藤委員 生涯学習の方で取り組んでいただいている「瑞穂市の歴史文化を活かしたまちづくり」なんですけど、新たに瑞穂市史を作るということで取り組んでいただいているんですけども、実は学校にちょっと保護者指導に回った折に図書館を覗いたんです。図書館にじゃあこの瑞穂市の歴史とか文化とか自然について紹介する書籍はあるかなとずっと見ていたんですけども、旧巢南町発刊の「すなみ百話」とか、旧穂積町の水害の記録、あるいは歴史とか、あるいは子ども向けの冊子が作られているんです。

これ市史を作っていただいても読み手が大人なんですね。これに並

行しては難しいかもしれませんが、ぜひ子ども向けの市史等ちょっと独創的なものを、今後一緒に参加いただきながら考えていただくといいと思います。

あともう1つですが、5ページ「生涯学習施設の維持管理・活用」、（仮称）中山道大月多目的広場の整備について、ほとんど基本的な設計が作られつつあるということなんですけれども、中学生のみずほ未来プロジェクトの提案で「大月多目的広場をこんな風にやったらどうか」というような提案が、2年前にいくつか出ていたんですよ。私あれを聞きながら、やはりみんなが遊べる場所もあるといいけれど、万が一何かあった時に防災面での活用も考える必要があるのかなと思って、子どもたちの意見を聞いていたんです。やはり子どもの提案をそのまま活かすということは難しいかもしれませんが、今後（仮称）中山道多目的広場の目的に合わせながら取り入れていただくとありがたいなと思います。昨年度発表いただいた子どもたちが、瑞穂市の花アジサイをもっと増やしたいという話の中で、ぜひ広場にアジサイを栽培したらということも提案してくれたんですよ。やっぱり瑞穂市にふさわしい広場ということでそういった植栽についてももうちょっと子どもたちの意見を取り入れながら考えていただくといいなと思います。子どもたちが一生懸命考えて提案してくれた内容が消えてしまったのではあまり意味がないと思いますので、ぜひ何らかの形で残していただきたいと思います。

○棚橋市長 福野先生、特に保育所や幼稚園のこととか、ご意見おっしゃっていただけるとありがたいです。

○福野委員 31年度の予算要望にはちょっと場違いかと思うんですけれども、先ほども加藤先生から防災についてございましたので、近い将来に向けて結構ですが、実は私が勤めております岐阜市の校区で、連合会長さんとかいろんな人との会合があって、阪神大震災の時にそれぞれの避難場所に皆さんが避難された際、1日目や2日目は小さいお子さんを連れた家族に優しく対応され、「かわいい、かわいい」で終わったのですが、もう2日目の晩になると「いい加減にしろ」「静かにさ

せろ」と疎ましがられ、おっぱいをやる場所もなく、若いお母さん方が肩身の狭い思いをしながら一晩中小さいお子さんをおぶって体育館の周りを歩いたという話を聞き、大変なショックを受けました。私事ですが、私の園では耐震も大丈夫ですし、先程のような場合は小さいお子さんをお持ちのお母さんは私の園にいらっしゃいということで、おむつとかミルクとかお水とか、たくさんの備蓄品をそろえたんですね。

じゃあ自治会が用意した避難所にそういう物があるかと言ったら一切その案がなかったと、そういう意見で先生ありがとうと言う風に言われたのですが、やはり瑞穂市も、保育所は小さい子のための施設ですから、トイレも小さいですしね。だからぜひ保育園もそういう受け入れをできるように、ある程度の備蓄品をぜひ揃えて受け入れできる態勢を作っていただけたら、そういうお母さん方が安心されるんじゃないかなって思います。もちろんご存じなくては駄目ですので、日頃から災害時は保育園も利用できると、そういう呼びかけをしてくださると安心だと思います。

○棚橋市長 ありがとうございます。

議題1「平成31年度教育委員会予算要望」については、一旦閉めさせていただきます。そのほか、直接この議題に関してでなくても結構ですので、話し合いができたかと思います。いかがでしょうか。

○福野委員 新しい牛牧第1保育所ができますが、瑞穂市の子どもを同じ歩調で育てていくために園長会には出ただけなのですか。

○林幼児支援課長 はい、今も清流みずほ保育園長先生たちにも出席していただいております。

○福野委員 定期的にじゃなく、ずっと出てみえるのですか。

○林幼児支援課長 毎回出席をお願いしております。今皆さんに聞いていただかなければならないところまで出席していただき、公立だけで統一しなければいけないところではお帰りいただいております。

○加納教育長 今年の保育士研修では、小規模保育所の保育士さん方も呼んで一緒に研修を受けてもらいました。大変ありがたがって見えるという

ことも聞いています。これも継続していきます。

○福野委員 給食は瑞穂市の給食、献立でやるのですか。

○林幼児支援課長 自園調理になりますので、ご自分のところで栄養士さんを雇われる予定をしています。

○福野委員 わかりました。

○加木屋委員 先日公表会とか研究授業を見させていただいて、本当に電子黒板をすごく上手に使っていらっしゃるクラスとか、本当にお子さんたちが昨年度に比べてとても生き活きと授業をしているということ、すごく実感しました。

森下委員さんともお会いした時に時々お話ししていたのですが、気になった点が2点ありまして、その電子黒板の設置場所について、やはり冬場はどうしても日が反射してしまっていてちょっと見づらいんじゃないかなという点が1点、もう1点は、穂積中学校は設置場所が南側に置いてありましたのでとても見やすいのですが、そちらに置いた理由が見やすいということ以前に、もし災害時に倒れたときの避難経路を確保するためにそちらにされたというお話をいただきましたので、各学校によってそれぞれスペース的な問題もあるかと思いますが、やはり万が一の場合大きなものですので、対策も併せて考えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○棚橋市長 委員の皆さま、本日はありがとうございました。それでは本日の議題は以上とさせていただきます。

閉会の宣告

○棚橋市長 最後になりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項及び瑞穂市総合教育会議運営要綱第7条の規定により市長が議事録を作成することになっておりますが、内容については私に一任していただくということでよろしいでしょうか。

(全員同意)

○棚橋市長 ありがとうございます。会議の円滑な運営にご協力いただきましてありがとうございました。それでは、これで閉会とさせていただきます。

ます。

閉会 午後 2 時